

令和6年6月25日

全史料協会員各位

全史料協会長 辻川 敦
(会長印省略)

令和6年度全史料協総会の開催について（通知）

会員各位におかれましては、日々アーカイブズの業務に邁進、ご研鑽のことと存じます。

令和6年度の全史料協総会を次のとおり開催します。ご多用中とは存じますが、どうぞご参加ください。

1 日 時 令和6年7月13日（土） 午後1時30分～4時30分

2 開催方式 Zoom を利用したオンライン形式

3 プログラム（予定）

総会 午後1時30分～午後3時

休憩 10分

DX テーマのオンラインイベント 報告とディスカッション

午後3時10分～4時30分

報告 橋本陽氏（京都大学大学文書館）

「ライフサイクルを支える電子システム：DX（DT）以前からの諸問題」

DX というテーマについて、アーカイブズ機関やアーキビストは何を学び、どう取り組んでいく必要があるのか、全史料協としての今後の方向性も含めてディスカッションします。

司会 柳沢美美子氏

平野泉氏（立教大学共生社会研究センター）

4 申込み 参加に当たっては事前申込が必要です。下記の参加登録用ウェブサイトより令和6年7月11日（木）までにお申込み下さい。

お申込みいただいた方には、後日 Zoom の入室情報や注意事項などについてご連絡いたします。

⇒参加登録用ウェブサイト

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdFxiyg8NHJ6nCM8hes7j2KLh5h1ZgTCBx9cecgNWBbh9wN0g/viewform>

※職場環境の情報セキュリティによる制限等で上記サイトへのアクセスができない場合には、次の事項について下記の会長事務局ア

ドレス宛にメールでご連絡いただければ、代理登録いたします。

入力項目（*必須）

- 1) *お名前
- 2) *ふりがな
- 3) ご所属
- 4) *参加区分 機関会員・個人会員（選択）
- 5) *メールアドレス
- 6) *参加者名簿への掲載（氏名・所属） 可・否（選択）
- 7) 連絡事項（※機関会員で、複数の職員が参加される場合、その他の参加予定職員のお名前・ふりがなをご記入ください。）

5 総会資料 追ってメールにてお送りします。

以上

全史料協会長事務局（担当：櫛原） E-mail：secretariat@jsai.jp 携帯：090-7226-2771
--

「奨励賞」の推薦について

令和6年6月25日

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会表彰規程第4条に基づき、「奨励賞」の候補者を募集します。奨励賞は機関会員又は個人会員からの推薦により候補者を選定し、役員会において選考の上決定します。

推薦を行う会員は、下記の要領によりご提出ください。

記

一 推薦書

推薦を行う会員は、別添「全史料協奨励賞推薦書」に記入の上、会長事務局までメールで送付してください。郵送の場合は事務支局宛。

一 対象となる業績・運営・活動の範囲

令和4（2022）年度から令和5（2023）年度に至るものとします。

一 提出期限

令和6年8月30日（金）必着

以上

【参考】（奨励賞）

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会表彰規程

第4条 本会は、機関会員又は個人会員から推薦されたもの（会員以外のものを含む。）が、次の各号の一に該当すると認めるときは、そのものに対して奨励賞を授与する。

- （1）当該年度に刊行された『記録と史料』、機関会員の発行物その他の刊行物に掲載された論文等の執筆者で、奨励するに値する顕著な調査研究等をおこなったもの
- （2）公文書館等の事業等で、奨励するに値する顕著な運営をおこなった機関
- （3）歴史資料の保存活動で、奨励するに値する顕著な活動をおこなったもの
- （4）その他、特に奨励することが適当であるもの

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会表彰規程施行内規

第4条の適用については、次の例による。

- （1）柱書きに定める「推薦」には、機関会員又は個人会員による自己推薦を含める。また「当該年度」とは、選考および表彰を行う年度の前年度及び前々年度とする。
- （2）第1号に定める「論文等」は、本会以外から表彰等を受けていないものに限る。

- (3) 第2号に定める「公文書館等の事業等」とは 評価選別、収集、保存、利用、普及等、公文書館等の運営上実際に行われたものをいい、「奨励に値する顕著な運営」とは、単に当該公文書館等の業績であるに留まらず、他の公文書館等の今後の運営や課題解決に示唆を与えるなど、広く貢献できるものをいう。
- (4) 第3号に定める、「歴史資料の保存活動」とは、第2号以外の活動で、災害に伴う被災資料の救出、保全及び修復活動や、滅失危機にある地域資料の保存活動など、その活動を通じて社会貢献したものをいい、「奨励に値する顕著な活動」とは、活動の事実のみでなく、その内容が、今後の保存活動の範となるものをいう。

【推薦書送付先・問合せ先】

全史料協会長事務局（担当：櫛原）

secretariat@jsai.jp

携帯 090-7226-2771

全史料協事務支局

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム内

TEL 03-6267-4550

FAX 03-6267-4555